

国語科学習指導案（6年）

1 単元名 読み手に分かりやすい意見文を書こう

—「残りの小学校生活をより良くするために」—

教材名：「文章構成の効果を考える①」（学校図書）

2 考察

(1) 教材観

学習指導要領「B書くこと」の高学年の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考えながら文章を書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」である。これを受け、本単元では意見文を書くという言語活動を設定し、教科書教材「文章構成の効果を考える①」と関連させて、以下の指導を行う。

「B 書くこと」指導事項 ○は本研究の重点

○イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

○オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

○カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

(キ) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

意見文は、高学年から加えられた言語活動例であり、ある事柄や出来事に対して、自分の経験や知識を根拠に、自分の考えを筋道立てて書いた文章である。論理的な文章を書くためには、文章構成を考えると不可欠であり、自分の考えや意見をより効果的に伝えるための文章構成について理解する必要がある。そこで、導入として教科書教材と関連させ、「はじめ」「中」「終わり」の基本的な文章構成の型、考えや意見を読み手に明確に伝えるための「頭括型」「尾括型」「双括型」の三つの型を確かめる。それぞれの効果の違いを考えさせることで、文章全体の構成が目的に応じて決定されており、それらに合わせた構成を理解させることで、明確な書き方に気付かせていく。

意見文を書くに当たっては、テーマ設定も重要となる。本研究では「ピア活動」として相互推敲を行うため、共有できる体験に学校生活を取り上げ、「残りの小学校生活をより良くするために」というテーマを設定する。これは、相互推敲で具体的なアドバイスができるようにするとともに、小学校最上級生のこの時期に学校生活の現状を見つめ、課題を発見して自分の考えを主体的に表現する上で価値あるテーマと捉えたからである。そして、最上級生としての自分の意見を校長先生や家族に向け発信することで、「読み手に分かりやすい意見文を書く」という目的意識と相手意識を明確に持たせられるようにする。

(2) 指導方針

- ・「学習計画表」を用いて、テーマ設定やピア活動の意義を理解させ、学習の見通しを持てるようにする。学習課題である「読み手に分かりやすい意見文」にするために、『書き技シート』を踏まえ友達と読み合っより良い文章にするという目的を明確にさせ、意欲付けを図る。
- ・身近なテーマである「残りの小学校生活をより良くするために」を設定し、前もって考えさせておき、様々な視点から題材が見付けられるように投げかけておく。
- ・ピア活動（推敲①・推敲②・交流）のグループ編成は3～4人で行い、手順を示して活動が円滑に進められるようにする。活動後は学習計画表に振り返りを記入させ、児童の学習状況を捉えられるようにして評価につなげる。

3 研究とのかかわり

本研究は、「書くこと」の一連の学習過程で「推敲」を視点に学習過程を工夫し、ピア活動として、指導事項を踏まえた『書き技シート』を用いて相互推敲する実践を行う。単元を通して「読み手に分かりやすい意見文を書こう」とする意識で取り組み、読み手の立場に立ってアドバイスし合い、推敲の仕方を身に付けさせていく。

4 単元の目標

文章構成の型について知り、構成や自分の主張が明確になるようにアドバイスし合い、読み手に分かりやすい意見文を書く。

5 指導計画（全6時間予定）

| 時 間 | 過 程 | 伸ばしたい資質・能力 | | 主な学習活動 |
|---------------------|--------|---------------------------------|--------------------------|---|
| | | 活用させたい知識等 | 思考力・表現力等 | |
| 事前 | | | 事象を取材する力 | ・題材シートを基に、身の回りから書く材料や伝えたいことを見付ける。 |
| 第1時 ----- 第2時 | 課題把握 | 文章構成の型とその要素 | 文章全体の構成を理解する力 | ・学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。 ・文章構成の基本型「はじめ・中・終わり」とその要素について理解する。(教科書教材) |
| 第3時 ----- 第4時 | 課題追究 | | 文章全体の構成を考えて組み立てる力 | ・「頭括型」「尾括型」「双括型」それぞれの文章構成の効果を考える。(教科書教材) ・各自の意見文の題材について話し合う。 |
| 第5時 ----- 第6時 | まとめ | 接続語の使い方 文末表現の知識 語句を正しく用いる | 目的に応じて簡単に書いたり、詳しく書いたりする力 | ・修正した構成メモを元に意見文を書く。 ・「書き技シート②・③」に沿って見直す。 |
| | | 中心となる語や文の知識 | 表現の効果などを確かめたり工夫したりする力 | ・友達の意見文を読み合い、改善すべき点をアドバイスし合う。(推敲②) ・意見文を修正し、清書する。 |
| | | 中心となる語や文の知識 | 表現の仕方に着目して助言し合う力 | ・清書作文を発表し合い、記述の効果やこれからに生かしたい点を話し合う。(交流) |
| 事後 | | | | ・校長や保護者に意見文を発信する。 |

6 本時の展開 (1 / 6)

(1) ねらい

学習課題の解決に向けて学習の見通しを持ち、意見文の文章構成の基本の型を理解することができる。

(2) 準備

教師—学習計画表（掲示用・児童用）、基本の型（掲示用）、掲示用例文①・②、児童用例文②
 児童—教科書、ノート

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|--|-----|---|
| <p>1 意見文について知り、学習課題をつかんで学習の見通しを持つ。</p> <p>友達と学び合って、読み手に分かりやすい意見文を書こう。</p> <p>そのために必要な力 ↓</p> <p>○文章全体の構成を理解し組み立てる力 ○根拠を元に自分の考えをまとめる力 ○文章構成や表現を工夫して書く力 ◎表現の仕方に着目して助言し合う力</p> | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習計画表」を示し、学習課題や意見文を書くために必要な力を捉えさせる。「読み手に分かりやすい」意見文にするために、友達と読み合ってアドバイスし合う推敲活動に重点を置くことを知らせる。 ・学習計画の予定と内容を確認しながら、400～600字の意見文に書くことを知らせ、校長先生や家の人に読んでもらうというゴールのイメージを持たせ、学習計画表の記入の仕方を確かめる。 |
| <p>2 意見文の構成「基本の型」とその要素について考える。</p> <p>基本の構成の型を確かめよう。</p> <p>①例文からどんな要素かを考える。 ②順序をばらばらにした文を並べ替え、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「～思います」だから、この文が意見だな。 ・和紙と洋紙の詳しい説明はこの文だな。 ・和紙と洋紙のことだから、話題提示の文だな。 ・「はじめ」「中」「終わり」の要素は～だな。だからこの順番だな。 | 30分 | <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「中」「終わり」にどんな要素が盛り込まれているか、例文を基に話し合い、「分かりやすい文」にするためには構成の型があることに気付かせる。 ・文と文をつなぐ接続語の使い方に着目させる。 ・それぞれの文がどんな要素かを考えさせながら、順番を考えさせる。「はじめ」「中」「終わり」の構成に当てはめさせ、ペアで説明させる。 ◎話題提示と意見が書かれている文を見つけさせ、それが「はじめ」と「終わり」になることに気付かせる。 ◎二つの事例とそれをまとめている文に着目させ、詳しく説明している文を捉えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>◇意見文の基本形「はじめ」「中」「終わり」の要素を理解し、文の要素やつながりを説明している。 (発言)</p> </div> |
| <p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「はじめ」「中」「終わり」で書く内容を決めるといいんだな。 ・分かりやすい意見文が書けるといいな。 ・友達によく読んでもらって分かりやすい文章にしよう。 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題「読み手に分かりやすい意見文」を書くために頑張りたいことや基本の文章構成について分かったことを記述させ、数人に発表させる。 ・次時は「意見を伝えやすくする文章構成」の学習をすることを確かめる。 |

7 板書計画

友達と学び合って
読み手に分かりやすい意見文を書こう

そのために必要な力

- 文章全体の構成を理解し組み立てる力
- 根拠を元に自分の考えをまとめる力
- 文章構成や表現を工夫して書く力
- 表現の仕方に着目して助言し合う力

学習計画表

意見文の基本的構成を考えよう

1 基本の型

| | |
|-----|----------------------|
| はじめ | 話題を書き出す（話題提起・問題提起） |
| 中 | くわしく書く（意見提示・根拠となる事例） |
| 終わり | まとめの意見・感想 |

◆基本の型に並べ替えよう

はじめ

③紙には…（話題提示）

⑤和紙の原料は…（事例1）

②一方、洋紙の…（事例2）

④このように、…（事例のまとめ）

①私は、…思います。（意見のまとめ）

終わり

8 資料

学習計画表

【裏】

【表】

ピア活動をふり返ろう

| すいこう① | | |
|-----------------------|-------------------------------|--------------------|
| ○協力して話し合えた | ○改善点が見つかった | ○友達にアドバイスできた |
| 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 |
| すいこう② | | |
| ○協力して話し合えた | ○改善点が見つかった | ○友達にアドバイスできた |
| 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 |
| 交 流 | | |
| ○協力して話し合えた （自分の作品） | ○分かりやすい 意見文になった （友達の作品） | ○内容や表現の 工夫が分かった |
| 4 3 2 1 | 4 3 2 1 | 4 3 2 1 |

ピア活動をふり返ろう

| ④ | ③ | ② | ① | | |
|-------------------------|-----------------------|------------------------|-----------------------|----------------------|------------------------------------|
| 交流 | 清書 | すいこう | 記述 | 構成 | 取材 |
| 友達と発表し合う よさ をふり返る | 修正・清書する | 自分ですいこうする 友達とすいこうする | 意見文を書く 友達とすいこうする | 構成メモを作る 友達とすいこうする | 意見文の題材を決める 3つの型が分かる 基本の型が分かる |
| ピア活動・くわしくふり返ろう | ピア活動・くわしくふり返ろう（すいこう②） | | ピア活動・くわしくふり返ろう（すいこう①） | | |
| | | | | | |

友達と学び合って
読み手に分かりやすい意見文を書こう

テーマ決りの小学校生活をよりよくするために

（学習計画表） 名前（ ）

6 本時の展開 (2/6)

(1) ねらい

主題を伝えやすくする文章構成の型について知り、「頭括型」「尾括型」「双括型」それぞれの文章構成の効果や違いが分かる。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、基本の型 (掲示用)、拡大例文3、文の型 (掲示用)、題材シート
 児童—学習計画表、教科書、ノート

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|---|-----|--|
| 1 前時の基本の型を想起し、例文3を「話題提示」「詳しい文」「まとめの文」に分類する。 ・「思います」や「思っています」がたくさんあるけど、どれが主題の文なのかな。 ・「だから」が使われているから、考えをまとめた文だな。 | 10分 | ・それぞれの文がどんな要素かを考えさせ、どのように分類したかペアで説明させる。 ◎文末表現は似ているが、事実 (具体例) に対する感想と意見の違いが捉えられるようにする。 ・④⑤⑥の文は考えであることを確かめ、⑥が主題であることを押さえる。 |
| 2 主題を伝えやすくする文章構成の型について知り、その効果を考える。 意見を伝えやすくする三つの構成の型の効果を考えよう。 ○例文3はどの型か考える。 ・主題が最後にあるから「尾括型」だな。 ○例文3を頭括型・双括型に書き換えた文章と比べ、それぞれの文章構成の特徴を話し合う。 ・「頭括型」は意見がはじめにあるから、言いたいことがはっきり分かるな。 ・「双括型」ははじめと終わりに自分の意見があって説得力があるな。 ・「尾括型」はだんだん意見がまとめられているな。 | 20分 | ・主題 (自分の言いたいこと) の位置によって「頭括型」「尾括型」「双括型」があることを知らせる。 ・主題の位置を表した図を示し、理解できるようにする。 ・頭括型、双括型に書き換えた文のワークシートを配布し、主題の位置を確かめさせる。 ・ペアで読み合いながら、感じ方の違いを話し合わせ発表する。 ・目的に合わせ、それぞれの文章構成を用いると相手に分かりやすくなることを具体例を示し捉えられるようにする。 ・ワークシートに、自分の言葉でそれぞれの型の特徴をまとめさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【言語についての知識・理解・技能】 ◇主題の位置による文章構成の型とその効果の違いを説明している。(発言・ワークシート)</p> </div> |
| 3 意見文の題材について話し合う。 ・思い出に残る学校行事にしたい。 ・学校をもっと良くしたい。 ・下級生のために〇〇したい。 ・自分の得意なことに挑戦したい。 4 グループを確認する。 | 15分 | ・自分が考えておいた題材を紹介し合う。どんな考えが出たか、ほかにないかも考えさせる。 ・自分がどの題材にするか決め、次時は構成メモを作り、グループで検討し合うことを確かめる。 ・今日の学習で学んだことをメモにするときどのように生かしていきたいか振り返る。 |

7 板書計画

主題

C 双括（そうかく）型

主題

B 尾括（びかく）型

主題

A 頭括（とうかく）型

効果

例文3

1 基本の型

| | | | | | |
|-----|-----------|---|---|-----|--------------------|
| 終わり | まとめの意見・感想 | 中 | くわしく書く（意見提示・根拠 <small>こんぎょ</small> となる事例） | はじめ | 話題を書き出す（話題提起・問題提起） |
|-----|-----------|---|---|-----|--------------------|

主題を伝えやすくする
文章構成の型を覚えよう

8 資料 題材シート

意見文を書こう 6年 松岡 夢 5前

【準備カード】

自分の考えや意見をまとめた文章を「意見文」といいます。

7月は、国語で意見文を書く学習をします。（400字～600字）

テーマは「残りの小学校生活をよりよくするために」

相手は「校長先生に向けて」

「自分が〇〇していきたいこと」を発信します。

例えば…「学校行事を充実させたい」

「川場小学校をもっとよい学校にして下級生に引きつぎたい」

「〇〇をうまく進めるために（勉強・運動・自分の目標など）」

「残りの小学校生活をよりよくするために
自分が〇〇していきたいこと」

【1つを選び、マッピングしてみよう】

ぼく・わたしの意見

↓

残りの小学校生活をよりよくするために、ぼく・わたしは、

していきたいです。

6月24日（金）朝回収

6 本時の展開 (3/6)

(1) ねらい

意見文の構成メモを作り、分かりやすい構成メモになっているかグループで検討し合い、改善点を見いだすことができる。(推敲①)

(2) 準備

教師—学習計画表(掲示用)、書き技シート①(掲示用)、構成メモ用ワークシート(掲示用)
付箋、ピア活動の仕方(各グループ)

児童—学習計画表、題材シート、書き技シート①、構成メモ用ワークシート

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|--|-----|---|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、構成メモの書き方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>構成メモを作って、友達とアドバイスし合い、分かりやすい構成メモにしよう。</p> </div> | 10分 | <p>・前時に確認したグループで座席を組ませ、友達にアドバイスをもらいながら構成メモをより良いものに仕上げるとい学習課題を捉えられるようにする。</p> <p>・教師作成のモデルを例示し、構成メモを書く手順を示す。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>— 構成メモを書く手順 —</p> <p>①三角ピラミッド型で、自分の主張→具体例→思ったことや意見の順に考えさせ、付箋に書く。</p> <p>②頭括型・尾括型・双括型のどの型を用いるか決める。</p> <p>③構成メモに要素を書き込みながら、付箋を並べ替える。</p> </div> |
| <p>2 各自で意見文の構成メモを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事例は何にしようかな。 ・詳しくするには、自分の考えも書こう。 ・自分の体験を入れてみよう。 ・自分が見たことを事例にしよう。 ・家族や先生に言われたことを付け加えてみよう。 | 15分 | <p>・「書き技シート①」を確かめながら、自力で構成メモができるように机間指導する。</p> <p>・時間を知らせながら、はじめの10分は付箋を書き込む時間に、残り5分は構成を考える時間に当て、自己チェック(自己推敲)や友達への説明ができるよう声かけをする。</p> <p>・付箋には、文章でなく短い言葉で書かせる。主張(黄)、事実(青)、考え(桃)と付箋の色を変え、視覚的に事実と考えを分けられるようにする。</p> <p>◎題材シートを確かめさせ、なぜこの題材を選んだかを問い、その具体例を考えさせる。</p> <p>◎選んだ型にあった構成になっているか確かめさせる。</p> |
| <p>3 グループで構成メモを説明し合い、アドバイスをもらおう。(推敲①)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>— 説明の仕方 —</p> <p>(ワークシートを見せながら)</p> <p>①私の主題は「～するために、私は～したい」です。</p> <p>②使う文章構成の型は～型にしました。</p> <p>③はじめは、～(要素)で～(付箋)。 中は、～(要素)で～(付箋)。 ～(要素)で～(付箋)。 …</p> </div> | 15分 | <p>・「推敲」は「より良く練り直す」ことを押さえる。友達に分かってもらえるよう説明し、「アドバイスをもらって、良い考えを取り入れて、もっと良く修正する」というピア活動の意義を理解できるようにする。友達のプラスになるような発言、困っていることを一緒に考える場であることも理解させる。</p> <p>・ピア活動の進め方を教師が示し、説明や聞き方、アドバイスの仕方がイメージできるようにする。 (一人4分程度で交替)</p> <p>・友達の説明を聞きながら、「書き技シート①」の「3チェックしよう」の観点に沿ってアドバイスができ</p> |

終わりは、～（要素）で～（付箋）。
④アドバイスをお願いします。

- ・事例が当たり前すぎるから、自分の体験を入れてみたら。
- ・詳しくするには、あと一つ事例を入れるといいね。
- ・主張の場所が、型に合っていないよ。これは、〇〇型だよ。
- ・自分の思ったことや考えが加わっていないね。
- ・家族や先生の言葉がいいアイデアだね。
- ・分かりやすくするためには、順番を入れ替えてみたらどうかな。

4 自分の構成メモを修正し、本時の振り返りをする。

- ・自分の体験や思ったことを付け足そう。
- ・頭括型だったけど双括型にチャレンジしてみようかな。
- ・具体的な事例を考えてみよう。
- ・事例と考えを分けてみよう。

るように考えさせる。読み手に分かりやすいかどうかも考えさせる。

◎説明がうまくできない場合は、教師が補助して一緒に考える。まだ考えがまとまっていない場合は、友達に知らせ、アイデアをもらうよう促す。

- ・もらったアドバイスをワークシートにメモさせ、修正や振り返りの参考にさせる。

【書く能力】
◇文章の型を用いて適切な構成メモになっているかを、チェック項目に基づいて説明したりアドバイスをしたりしている。（発言）

5

- ・ワークシートのメモを基に、より分かりやすい構成メモになるよう修正する。
- ・ピア活動の振り返りを記入する。アドバイスをもらって良かったことや、見直して修正したいことなどを書かせる。
- ・次時は、構成メモを基に意見文を下書きすることを知らせる。

【書く能力】
◇ピア活動を受け、改善点を見いだして修正している。（構成メモ・学習計画表の振り返りカード）

7 板書計画

| | | |
|-------|-----|-------|
| (終わり) | (中) | (はじめ) |
| | | |

書き技シート①
今かりやすい構成

1 基本の型

2 今かりやすい構成

3 今かりやすい構成

★ピア活動の仕方
【説明する人】

① 主題
② 文章構成の型
③ 要素

【聞く人】
分かりやすいか
チェック項目
プラスアドバイス

読み手に分かりやすい
構成メモを作って、友達とアドバイスし合い
分かりやすい構成メモにしよう

★修正点を
赤で書こう

8 資料

書き技シート①

書き技シート①

分かりやすい構成

1 基本の型

| | |
|-----|----------------------|
| はじめ | 話題を書き出す（話題提起・問題提起） |
| 中 | くわしく書く（意見提示・根拠となる事例） |
| 終わり | まとめの意見・感想 |

2 主題（自分の言いたいこと）を伝える型

A 頭括（とうかつ）型

B 尾括（びかつ）型

C 双括（そうかつ）型

3 チェックしよう

- 文章の型を使っている
- 主張がはっきりしている
- 主張を支える事例になっている
- 主張につながる考えがある
- つながりのある順番になっている

ワークシート（構成メモ）

【ステップ①】 友達のアドバイスをメモしよう。

【ステップ②】 付せんを構成を考えてならべよう。

| （終わり） | 中 | はじめ | 文章構成の型 |
|-------|---|-----|------------------------------------|
| | | | 頭括（とうかつ）型 尾括（びかつ）型 双括（そうかつ）型 |

【ステップ③】 改善点を見つけて、よりよくしよう。
※ 直したところや付せしを付せんの横に赤で書こう

- 資料9 -

6 本時の展開 (4/6)

(1) ねらい

構成メモに沿って、主張の筋が通るように事例や考えのつながりを考え、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、主題が明確な意見文を書くことができる。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、書き技シート②・③ (掲示用)、

児童—学習計画表、構成メモ、書き技シート②・③、記述用ワークシート、国語辞典

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|--|-----|---|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、記述シートの書き方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>構成メモを基に、主題がはっきり伝わる意見文を書こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・構成が決まっているから、メモを基に文章を工夫してみようかな。 ・意見が伝わるように詳しく書こう。 ・書き出しを工夫してみようかな。 | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・修正した構成メモを基に、意見文を書くことを確認する。構成は考えてあるので、メモを文章に膨らませるといったイメージを持たせる。 ・読み手に分かりやすい文章にするには、コツがあることを知らせ、「書き技シート②」(記述の内容)・「書き技シート③」(言葉の使い方・表記)について、例を挙げながら説明する。 ・題名は仮のものを用い、後で決定できるように声かけをする。本文は3行目から書かせる。 |
| <p>2 構成メモを基に意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しは、問いかけから始めてみようかな。 ・自分の体験を詳しく書いてみよう。 ・段落を分けて書こう。 | 30分 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、構成メモを基に書かせる。「書き技シート②・③」は書きながらのヒントとして用い、机間指導をしながら声かけをする。 ・文字数 400～600字でまとめるためには、はじめと終わりは4～6行程度を目安にして見通しを持って書けるようにする。 ・書いた文を読み返しながら書き進めるように声かけをし、他の人に分かるように書いているか考えながら書かせる。 ・できあがったら「書き技シート②・③」のチェック項目を確かめ、修正点を考えさせ手直しもさせる。(自己推敲) <p>◎書き出しに手間取っている場合は、「書き技シート②」の「書き出しの工夫」をヒントに例示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【書く能力】 ◇構成メモに沿って、主張の筋が通るように事例や考えのつながりを考え、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】 ◇接続語や文末表現を適切に用いて書いている。 (記述用ワークシート)</p> </div> |
| <p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成メモ通りに書けて良かったな。 ・もっと分かりやすく書けるといいな。 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張が伝わるように書けたか、『書き技シート』のどの点が参考になったかを書かせる。 ・次時は、ピア活動で友達の作文を読み合い、アドバイスし合うことを確かめる。 |

7 板書計画

構成メモを基に、
主題がはつきり伝わる意見文を書こう

○書くときのヒントにしよう

書き技シート①

分かりやすい言葉づかい表記

1. 漢字・カタカナ

- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する

2. 漢字・カタカナ

- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する

3. 漢字・カタカナ

- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する

4. 漢字・カタカナ

- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する
- 漢字・カタカナを多用する

書き技シート②

分かりやすい記述(意見文)

1. 書き出し(印象的に)

- 全話・音・引用から
- 開いかけから(くずすか)
- 語りかけ(くずすか)
- 考え(考え)から
- 事実(周りの様子)から

2. 表現技法(効果的に)

- 比喩(たとえ)
- 「まるで」のように「くみだいに」
- くり返し(強調)
- 会話文
- 「様子」を表す「そのま」など
- 「音」を表す「ザーザー」など

3. くわしく(具体的に)

- 中心を選んで重点的に
- 事例は様子が目に浮かぶように
- 数字や日時、場所などを入れる
- 考えの理由をはっきりと

4. チェックしよう

- はじめから終わりまで主張の筋が通っている
- 事例(事実)が自分が見たことや体験したことになっている
- 事例からどう考えたかを具体的に書いている(なっとくできている)
- 目的に応じて、くわしく書くところ簡単に書くところを分けている
- 段落のつながりよく書けている
- 他の人にも意味の分かる文章になっている

○書く時間20分・見直し10分

『書き技シート』の
チェック項目をよく確かめよう。

8 資料

書き技シート②

書き技シート②

分かりやすい記述(意見文)

1. 書き出し(印象的に)

- 全話・音・引用から
- 開いかけから(くずすか)
- 語りかけ(くずすか)
- 考え(考え)から
- 事実(周りの様子)から

2. 表現技法(効果的に)

- 比喩(たとえ)
- 「まるで」のように「くみだいに」
- くり返し(強調)
- 会話文
- 「様子」を表す「そのま」など
- 「音」を表す「ザーザー」など

3. くわしく(具体的に)

- 中心を選んで重点的に
- 事例は様子が目に浮かぶように
- 数字や日時、場所などを入れる
- 考えの理由をはっきりと

4. チェックしよう

- はじめから終わりまで主張の筋が通っている
- 事例(事実)が自分が見たことや体験したことになっている
- 事例からどう考えたかを具体的に書いている(なっとくできている)
- 目的に応じて、くわしく書くところ簡単に書くところを分けている
- 段落のつながりよく書けている
- 他の人にも意味の分かる文章になっている

書き技シート③

書き技シート③

分かりやすい言葉づかい・表記

1. 文末表現(統一する)

- 常体(くである、くだ、など)
- 敬体(くです、くます、など)
- 事実(くだ、した、である、)
- 意見(くじ思う、くど考える、)
- くだらう、くだらがない、)

2. 接続語(文や段落の関係)

- 順接(だから、そこで、それで、)
- 逆接(でも、けれども、しかし、)
- 並べ(付け加える)
- (また、そして、さらに、しかも、…)
- 説明・補足(ただし、なぜなら、)
- 選ぶ、比べる、それとも、または…)
- 話題を変える(ところで、では、)
- 言い換え、まとめ
- (つまり、要するに…)

3. 表記のきまり(正しく)

- 誤字・脱字
- 漢字
- 句読点「、」「。」「」
- 原稿用紙の使い方
- 段落はじめは「マヌ空ける…」

4. チェックしよう

- 文末表現が常体が敬体で統一されている
- 事実と意見を区別した文末表現になっている
- 文と文、段落のはじめの接続語を正しく使っている
- 言葉や漢字が正しく使われている

6 本時の展開 (5/6)

(1) ねらい

第一次作文をグループで検討し合い、記述の内容について改善点を見つけて修正することができる。
(推敲②)

(2) 準備

教師—書き技シート②・③ (掲示用)、記述用ワークシート (掲示用)

付箋例、清書用紙、ピア活動の仕方 (各グループ)

児童—学習計画表、第一次作文、書き技シート②・③、構成メモ

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|---|------------|---|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、ピア活動の進め方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達と読み合ってアドバイスし合い、より良い意見文にしよう。</p> </div> <p>—ピア活動の進め方—</p> <p>①回し読みをしながら付箋に書き込む。 良い点 (緑)・改善点 (黄)</p> <p>②付箋がついたところを順に検討する。 (①・②ともに一人3分ぐらい)</p> <p>「緑の付箋ありがとうございました。黄色の付箋について～さんからお願いします。」</p> | <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた意見文をグループで読み合い、友達にアドバイスをもらいながらより良い意見文に仕上げるとい学習課題を捉えられるようにする。 ・原稿を読み合うピア活動の手順を教師が例示して確認する。付箋の書き方も示す。 ・「書き技シート②」に沿って、「読み手に分かりやすいかどうか」という視点で読むことを押さえる。「書き技シート③」表記については教師が評価とともに修正点を指摘することを知らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「書き技シート②」チェック項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> はじめから終わりまで主張の筋が通っている。 <input type="checkbox"/> 事例が自分が見たことや体験したことになっている。 <input type="checkbox"/> 事例からどう考えたかを具体的に書いている。 <input type="checkbox"/> 詳しく書くところと簡単に書くところを分けている。 <input type="checkbox"/> 段落のつながり良く書けている。 <input type="checkbox"/> 他の人にも意味の分かる文章になっている。 </div> |
| <p>2 グループで第一次作文を読み合い、アドバイスをもらう。(推敲②)</p> <p>「～のところが分かりにくいです。」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそう思ったか、理由を詳しく書くといいね。どんな理由なの？ ・会話を入れて、その時の様子が分かるようにしてみたら。 ・同じことが繰り返し続いているから、違う言葉にしてみたら。 ・この接続詞はなんだかおかしいよ。～の方がいいね。 ・一番大事な事例をもっと詳しく長めに書くと、良くなりそうだね。それをはじめの事例にしてみたら。 ・ここは、もっと簡単に書くとすっきり読めると思うな。 ・～のところを△△△にしてみたらどう？ | <p>25分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・回し読み、検討の交代の目安は、教師が児童の状況を見ながら表示で示し、適宜声をかける。 ・良い点、改善点ともに二つは書けるよう考えさせる。 ・良い点は交流時に紹介し合うので簡単に確認し、改善点を中心になぜ分かりにくいのか、どう直せば良いかを話し合わせる。 ・分かりにくいところは書き手に質問して、それをヒントに内容を加えさせる。 ・必要に応じて、構成メモも確認して考えさせる。 ◎良い点が見付からない場合は、表現の工夫や分かりやすさで考えさせる。それでも見付からない場合は、改善点に着目させる。 ◎改善点が見付からない場合は、もっと知りたいところを見付けさせる。 |

| | |
|---|---|
| <p>3 意見文を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話や音を付け足そう。 ・この事例を詳しくしてみよう。 ・読む人に伝わるような書き方してみよう。 ・思い切って順番を換えてみよう。 ・この言葉を違う言葉にしてみよう。 | <p>7 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスを基に、第一次意見文の空欄に修正点を赤で記入させる。付箋のついた箇所をよく吟味させ、無理に直すのではなく、納得できた部分を修正させる。 ・読み返して気付いたところも加えさせる。 ・教師も実態に応じ適宜アドバイスする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【書く能力】</p> <p>◇チェック項目に基づいて、記述の内容について友達の作文の改善点を見いだしたり、アドバイスを基に改善点を修正したりしている。 (発言・第一次作文の修正)</p> </div> |
| <p>4 本時の振り返りをし、清書の書き方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付かなかったことを教えてもらえて良かった。 ・理由をいろいろ付け足せたから、はじめより詳しくなってきたな。 | <p>8 分</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ピア活動の振り返りを記入する。アドバイスをもらって良かったことや、見直して修正したことなどを書かせる。 ・次時の清書の仕方を確認し交流することを伝える。題名を考えておくように知らせる。 |

7 板書計画

◎アドバイスの仕方
「〽のところの方が分かりにくいです。」
質問したり話し合ったりして良い方法を考えよう
「〇〇にしてみたらどう?」

◎修正の仕方
空欄に赤で書きこもう
自分の判断で!

（児童作品の拡大）

◎アドバイスの視点
◎付せんの例

書き直しシート

今かき直したい記述(意見文)

1. 友達の作文をじっくり読む
2. 改善点を探る
3. 改善点を伝える
4. 改善点を修正する

＜改善点＞

＜良い点＞

推敲

6 本時の展開 (6 / 6)

(1) ねらい

清書した意見文を発表し合い、内容や表現の工夫、これからは生かしたいことを伝え合う。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、書き技シート①・②・③ (掲示用)

児童—学習計画表、清書作文、第一次作文、書き技シート①・②・③

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|--|-----|---|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、清書をし、発表の準備をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>清書した意見文を発表し合い、工夫点やこれからは生かしたいことを伝え合おう。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>—ピア活動の進め方—</p> <p>①書き方を工夫したことや頑張ったこと ②修正点 ③意見文の音読 ④発表を聞いての感想</p> </div> | 20分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピア活動で、発表し合うことを確認する。 ・清書を仕上げ、題名を決めさせる。 ・清書した意見文を繰り返し音読し、発表の練習をさせる。 ・自分の意見文で工夫したことや頑張ったこと、修正点が発表できるようメモさせる。(第一次作文の裏)『書き技シート』も参考にさせる。 ・発表を聞く人は、工夫した書き方や分かりやすさで参考にしたいことなどの感想が言えるよう、考えながら聞くように意識付ける。 |
| <p>2 グループで清書原稿を発表し合い、感想を伝え合う。(交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成をしっかり考えたから、何を書けば良いかが分かった。 ・書き出しを工夫できて良かった。これからはやってみたい。 ・事実を詳しく書くと、なぜそう考えたかが分かる作文になると分かった。 ・〇〇君の書き方の～を自分も次にやってみたい。 | 20分 | <ul style="list-style-type: none"> ・工夫点やよさを中心に、伝え合うイメージを持たせる。自分らしい考えを大事にし、よく聞き合えるようにする。一人5分程度で交替する。 ◎発表者が工夫したことや頑張ったこと、修正点についても紹介しているので、その点を踏まえて聞き、感想が言えるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>◇自分の意見文の工夫点や改善点を進んで伝え、友達の発表に興味を示して感想を述べている。</p> <p>(発言・行動観察)</p> </div> |
| <p>3 ピア活動 (交流) やこれまでの学習の振り返りをする。</p> <p>①ピア活動から学んだこと ②書き技シートで役立ったこと ③これからは生かしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の書き方の工夫を取り入れていきたいし、どうやって文を直したらいいのかが分かった。 ・『書き技シート』の内容を進んで使えるようにしたい。 ・構成の型を使って、これから書くようにしたい。 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成を考え、構成の型に当てはめると分かりやすい文が書けることを押さえる。 ・分かりやすい意見文を書くために『書き技シート』のどんな点が役立ったか、今後には生かしたいことは何かも書かせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>◇意見文の書き方について学んだことを今後には生かそうとしている。</p> <p>(学習計画表の振り返りカード)</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・清書した意見文を校長先生に読んでもらい、掲示することを知らせる。グループ以外の人意見文も進んで読み、今後には生かすように呼びかける。 |

7 板書計画

意見文を発表し合い、
工夫点や生かしたいことを伝え合おう

書き後シート①

① 工夫点や生かしたいこと

| | |
|---|-------------|
| 1 | 工夫点や生かしたいこと |
| 2 | 感想 |



交流

読み手に分かりやすい
意見文にするために

- ① 工夫したことが
がんばったこと
- ② 修正したところ
- ③ 意見文
- ④ 発表を聞いて
(感想)

書き後シート②

② 感想

| | |
|---|-------------|
| 1 | 工夫点や生かしたいこと |
| 2 | 感想 |



振り返ろう

- ① ピア活動
- ② 書き技シート
- ③ これからに生かす

書き後シート③

③ 感想

| | |
|---|-------------|
| 1 | 工夫点や生かしたいこと |
| 2 | 感想 |

※ 書き後シート

- 工夫点や生かしたいこと
- 感想
- これからに生かす

【期待する姿】 友達の文と比べることで、詳しく書くための具体例に気付かせていきたい。

【付箋の内容】

〈第一次作文・原文ママ〉

【友達からのアドバイス】
 ○短い文で詳しく書いてある
 ○最初、説得する書き方が良い
 ○自分の言いたいことが入っている
 ○最後のまとめが良い
 ▲問いを入れてみて
 ▲みんなに話す言葉を入れた方が良い
 ▲中をもっと詳しく
 【教師のアドバイス】
 ◇短いので具体例（事例）を詳しく付け足してみよう。
 ◇双括型で最後に主張を詳しく書いても良いです。

みなさんは、学校へ行く時、学校から帰る時などに、「学校行くのめんどくさい」、「明日も学校か。」と思ったことはありませんか。1回は、そう思ったことがあると思います。私は、みなさんがこの学校を楽しい学校と思う学校にしたいと思っています。学校で、友達や先生に明るい声であいさつをしている人がいます。その人は、心がスッキリして1日を楽しく過ごせると思います。その逆に、しっかりあいさつをしない人は、心がいさつして1日を過ごすと思いません。学校を楽しくするのはあいさつだけじゃなくほかにいろいろとたくさんあると思います。あいさつするのは礼儀だけではなく、あいさつをした人とあいさつをされた人の気持ち（心）をスッキリさせるからだと思います。

〈ピア活動での協議〉
 「めんどくさい」と思ったことのない人もいると思う。

（自力で修正）

〈清書作文・原文ママ〉

楽しいという気持ち
 ① みなさんは、学校へ行く時、学校から帰る時などに、② どのような気持ちで登下校をしていますか。
 ③ 「早く学校へ行って友達と遊びたい。」、「早く楽しい授業を受けたい。」と思つていません。中には、「明日も学校か。」、「めんどくさい。」と思つたことがあると思います。私は、みなさんがこの学校を楽しい学校と思う学校にしたいです。
 ④ ⑤ ⑥ ⑦ 私はいつも明るく、笑顔であいさつするように心がけています。そうすると、気持ちがらくになり、心がスッキリします。逆に、声が小さくて、暗いとあいさつされた側も気持ちが暗くなります。
 ⑧ このように、あいさつは、あいさつする側の気持ちも、あいさつされた側の気持ちも変わるものなので、とても大切です。だからと言って、この学校が百パーセント楽しくなるとは限りません。
 ⑨ それでも、あいさつすることで、友達とのきよりかんをつなぐことができると私は信じています。
 ⑩ だから、私はみなさんがこの学校を楽しい学校と思う学校にしたいです。

【清書後の主な修正点】

【推敲②後のふり返りカード】

★は友達から、◇は教師からのアドバイスと関連する

- ①誤字の訂正
- ②問いかけの修正★
- ③内容の追加★
- ④文末表現の修正
- ⑤⑧接続語の追加
- ⑥問いかけの追加★
- ⑦事例の追加（自分の視点に）★◇
- ⑨文の追加◇
- ⑩主張の補強・頭括型→双括型◇

| | | | |
|---|------------------|------------------|------------------|
| 友達に意見文を読んでもらった時、アドバイスをたくさんもらって、最後までよいも いい文に変わりました。 もっと意見文の長さを長くしたいです。 | 7/8 | すいこう② | |
| | ○友達にアドバイスできた | ○改善点が見つかった | ○協力して話し合えた |
| | ④ 3 2 1 | ④ 3 2 1 | ④ 3 2 1 |

【活動の様子】

推敲②のピア活動では、記述の量が少ないことを本人もよく理解していた。その後の赤での修正は、友達のアドバイスについて部分的に文章を修正していた。清書時にかなり時間をかけながら、友達や教師のアドバイスを取り入れて改善するために練り、前後のつながりを考えながら仕上げていた。

国語科学習指導案（6年）

- 1 単元名 説得力ある意見文を書こう
—郷土の未来がより良くあるために—

教材名：「文章構成の効果を考える②」（学校図書）

2 考察

(1) 教材観

学習指導要領「B書くこと」の高学年の目標は、「目的や意図に応じ、考えたことなどを文章全体の構成の効果を考え文章を書く能力を身に付けさせるとともに、適切に書こうとする態度を育てる。」である。これを受け、本単元では意見文を書くという言語活動を設定し、教科書教材「文章構成の効果を考える②」と関連させて、以下の指導を行う。

「B書くこと」指導事項 ○は本研究の重点

○イ 自分の考えを明確に表現するため、文章全体の構成の効果を考えること。

ウ 事実と感想、意見などを区別するとともに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすること。

○オ 表現の効果などについて確かめたり工夫したりすること。

○カ 書いたものを発表し合い、表現の仕方に着目して助言し合うこと。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」

(キ) 文や文章にはいろいろな構成があることについて理解すること。

意見文は、高学年から加えられた言語活動例であり、ある事柄や出来事に対して、自分の経験や知識を根拠に、自分の考えを筋道立てて書いた文章である。論理的な文章を書くためには、文章構成を考えると不可欠であり、自分の考えや意見をより効果的に伝えるための文章構成について理解する必要がある。

1回目の実践では、「文章構成の効果を考える①」で「はじめ」「中」「終わり」の基本的な文章構成の型とその要素、考えや意見を読み手に明確に伝えるための「頭括型」「尾括型」「双括型」の三つの型について学習し、その型を用いて意見文を書く活動を行った。その学習を受け、本単元では導入で教科書教材「文章構成の効果を考える②」を扱い、順序を変えることで伝わる印象が変わりそれに合わせた適切な接続語を用いること、「推論」や「反論」を加えて「尾括型」や「双括型」をアレンジし、より説得力を持たせる構成の型を学び、効果的な論の進め方について捉えられるようにしていく。そして、共通テーマに基づいて実際に意見文を書く活動を組み、その定着を図る。

意見文を書くに当たっては、テーマ設定も重要である。本研究では「ピア活動」として相互推敲を行うため、共有できる体験や学校生活を取り上げる。1回目の実践では、「残りの小学校生活をより良くするために」というテーマで校長先生に向けて自分の考えを意見文にまとめた。これを受け本単元では、「郷土の未来がより良くあるために」というテーマで、教育長や地域の方々に向け自分の考えを発信していく。郷土学習の一環としても、小学校最終学年のこの時期に、これまでの経験を踏まえ郷土に対する自分の思いや考えをまとめ述べることは意義ある活動であり、読み手を説得しようという目的や必要感を持たせる上でも適切であると考えられる。学習の成果を生かす場として、書いた作文を地域の方々に読んでいただく機会を実際に設け、未来の地域の担い手となる子どもたちの思いや考えを形にしたい。

(2) 指導方針

- ・「学習計画表」を用いて、テーマ設定やピア活動の意義を理解させ、学習の見通しを持てるようにする。学習課題である「説得力のある意見文」にするために、『書き技シート』を踏まえ友達と読み合ってより良い文章にするという目的を明確にさせ、意欲付けを図る。
- ・身近な共通テーマとして「郷土の未来がより良くあるために」を設定し、前もって題材の具体例や

郷土への思いを考慮しておく期間をとり、様々な視点から題材が見つけられるよう投げかけておく。構成を考える場では、書き込んだ題材シートの内容を元に整理し、構成メモが時間内で仕上がるよう支援する。

- ・要素のつなぎ方を理解し活用できるようにするために、基本パターンを例示して論の進め方の理解を深める。併せて、接続語の使い方や段落のまとまりについて定着を図る。
- ・1回目の実践で用いた『書き技シート』に追加・修正をし、1回目と合わせて活用できるようにする。表記の修正の仕方についても共通理解を図る
- ・ピア活動（推敲①・推敲②・交流）のグループ編成は3～4人で行い、手順を示して活動が円滑に進められるようにする。活動後は学習計画表に振り返りを記入させ、児童の学習の状況を捉えられるようにして評価につなげる。

3 研究とのかかわり

本研究は、「書くこと」の一連の学習過程で「推敲」を視点に学習過程を工夫し、ピア活動として、指導事項を踏まえた『書き技シート』を用いて相互推敲する実践を行う。読み手の立場に立ってアドバイスし合い、推敲の仕方や文章を見直す視点を身に付けさせていく。「読み手に分かりやすい意見文を書く」という1回目の実践の上に今回の実践「説得力のある意見文を書く」を積み上げ、相互推敲の有効性を検証する。

4 単元の目標

効果的な論の展開について知り、つながりある構成で自分の主張が明確になるようにアドバイスし合い、説得力ある意見文を書く。

5 指導計画（全6時間予定）

| | | | |
|--------------------|---------------------|---|---|
| 評価 規 準 | 国語への 関心・意欲・態度 | これまでの体験を踏まえ、郷土について自分の思いや考えをはっきりさせ、構成や文章の工夫点や改善点を見付けて生かそうとしている。 | |
| | 書く能力 | 文章構成や根拠を明確にして、分かりやすく説得力ある文章にするための改善点を見付けながら書くことができる。 | |
| | 言語についての 知識・理解・技能 | 帰納法（事例→結論）や演繹法（結論→事例）の述べ方、推論や反論を加えた述べ方などの文章構成を理解し、接続語や文末表現を適切に用いて書いている。 | |
| 時 間 | 過 程 | 伸ばしたい資質・能力 | 主な学習活動 |
| | | 活用させたい知識等 | |
| 事前 | | 事象を取材する力 | <ul style="list-style-type: none"> ・題材シートを基に、身の回りから書く材料や伝えたいことを見付ける。 |
| 第1時 ---- 第2時 | 課題 把握 | 帰納法・演繹法の述べ方 接続語の使い方 説得力を高める文章構成の型 | 文章全体の構成を理解する力 文章全体の構成を考えて組み立てる力 |
| 第3時 ---- 第4時 | 課題 追究 | 接続語の使い方 文末表現の知識 語句を正しく用いる | <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題を設定し、学習の見通しを持つ。 ・帰納法と演繹法の述べ方の効果と用いる接続語の使い方を理解する。 (教科書教材) ・「推論」や「反論」を加えた型の文章構成の効果を考える。 (教科書教材) ・各自の意見文の題材について話し合う。 ・構成メモを作り、意見文の内容を考える。 ・書き技シート①に沿って、分かりやすい構成メモになっているか検討し合う。(推敲①) ・修正した構成メモを基に意見文を書く。 ・書き技シート②・③に沿って見直す。 |
| 第5時 ---- 第6時 | まとめ | 中心となる語や文の知識 中心となる語や文の知識 | 表現の効果を確かめたり工夫したりする力 表現の仕方に着目して助言し合う力 |
| 事後 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・友達の意見文を読み合い、改善すべき点をアドバイスし合う。(推敲②) ・意見文を修正し、清書する。 ・清書作文を発表し合い、記述の効果やこれからの生かしたい点を話し合う。(交流) ・教育長や地域の方々に意見文を発信する。 |

6 本時の展開 (1 / 6)

(1) ねらい

学習課題の解決に向けて学習の見通しを持ち、述べ方の順序による「帰納法」と「演繹法」の文章構成の違いを理解することができる。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用・児童用)、三つの文章の型 (頭括・尾括・双括) の掲示物、

例文シート (掲示用・児童用)、接続語カード

児童—教科書、ノート

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|---|-----|--|
| <p>1 意見文について知り、学習課題をつかんで学習の見通しを持つ。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">友達と学び合って、説得力ある意見文を書こう。</p> <p>そのために必要な力 ↓</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">○文章全体の構成を理解し組み立てる力 ○根拠を元に自分の考えをまとめる力 ○文章構成や表現を工夫して書く力 ◎表現の仕方に着目して助言し合う力</p> | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学習計画表」を示し、学習課題や意見文を書くために必要な力を捉えさせる。「説得力ある」意見文にするために、友達と読み合っただアボイブスし合う推敲活動に重点を置くことを知らせる。 ・学習計画の予定と内容を確認しながら、400～600字の意見文に書くことを知らせ、教育長や地域の人に読んでもらうというゴールのイメージを持たせ、学習計画表の記入の仕方を確かめる。 |
| <p>2 述べ方の順番を工夫する論の進め方について考える。</p> <p style="border: 1px solid black; padding: 5px;">順番を工夫して、説得力のある「論の進め方」をつかもう。</p> <p>①例文をばらばらにしたものを「具体的な事例」と「まとめて書いている文」に分ける。</p> <p>②意味が伝わるように並べ替える。</p> <p>③帰納法と演繹法の二つの論の述べ方を文章にし、それぞれの効果を話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まとめて書いている文」が後だと尾括型と同じで、筆者と一緒に考えられるな。 ・「まとめて書いている文」が前だと頭括型と同じで、筆者の意図が伝わりやすいな。 <p>④帰納法と演繹法の二つの論の述べ方で短作文を作り紹介し合う。</p> | 30分 | <ul style="list-style-type: none"> ・既習の三つの文章構成について確認し、これをアレンジして更に説得力を持たせる文章構成の工夫について興味を持たせる。工夫として「順番」と「意図的な書き方」があることを知らせる。 ・並べ替えた後、「まとめて書いている文」を前に置くか後ろに置くか、二つの型になることを押さえる。 ・二つの型を接続語を用いて文章化することで、適切に接続語を用いる必要性に気付かせる。接続語は、必要な部分のみに用い、文のつながりを示すものであることを確認する。 ◎帰納法は「だから」という順接が、演繹法は「なぜなら」という説明の接続語を示して文章化させる。 ・ペアで受ける感じについて話し合わせる。 ◎「まとめて書いている文」が後ろだと～、前だと～と例文を与えて違いを捉えられるようにする。 ・既習の三つの文章構成と関連して考えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>◇帰納法と演繹法の二つの論の述べ方とその効果の違いを捉え、説明している。(発言)</p> </div> |
| <p>3 本時の振り返りをする。</p> <p>・まとめや言いたいことが前と後にあると</p> | 5 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習課題「説得力ある意見文」を書くために頑張りたいことや帰納法と演繹法の違いについて分かった |

感じ方が違うんだな。

- ・接続語に気を付けて書こう。
- ・説得力のある文が書けるといいな。

分

ことを記述させる。

- ・次時は「意図的に述べる」工夫について学習をすることを確かめる。

7 板書計画

◇一瞥でいねいに

(参考)

双括型

◇筆者の意図が伝わりやすい

Aさんは、スポーツが得意だ。
なぜならば
Aさんは、ドリブルが上手だ
Aさんは、泳ぐのが速い。
Aさんは、テニスでは負けない。

頭括型

◇筆者とともに考える

Aさんは、スポーツが得意だ。
←
だから
Aさんは、テニスでは負けない。
←
Aさんは、スポーツが得意だ。

順番を工夫して
説得力のある「論の進め方」をつかもう

尾括型

Aさんは、ドリブルが上手だ
Aさんは、泳ぐのが速い。
Aさんは、テニスでは負けない。
←
Aさんは、スポーツが得意だ。

学習計画表

友達と学び合って
説得力ある意見文を書こう

そのために必要な力

- 文章全体の構成を理解し組み立てる力
- 根拠を元に自分の考えをまとめる力
- 文章構成や表現を工夫して書く力
- 表現の仕方に着目して助言し合う力

8 資料

学習計画表

【裏】

【表】

| ⑤ | ④ | ③ | ② | ① | | | | |
|--------------------|--------------------|-------------------|-------------------|-------------------|--------------------|---------------------|------------------|----------------|
| 交流 | 清書 | すいこう | 記述 | 構成 | 取材 | (覚える) | (見通す) | (見通す) |
| 友達と よき をふり返る | 友達と 修正・清書 する | 友達と すいこう する | 自分で すいこう する | 友達と すいこう する | 意見文の 題材 を決める | 意見文の 構成メモ を作る | 意図的にかき分け が分かる | 順番の工夫 が分かる |
| ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る | ピア活動 をふり返る |
| 交流 | 交流 | 交流 | 交流 | 交流 | 交流 | 交流 | 交流 | 交流 |
| ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる | ○自分の作品 が分かる |
| 4.3.2.1 | 4.3.2.1 | 4.3.2.1 | 4.3.2.1 | 4.3.2.1 | 4.3.2.1 | 4.3.2.1 | 4.3.2.1 | 4.3.2.1 |

6 本時の展開 (2/6)

(1) ねらい

説得力を持たせる論の進め方として、尾括型で推論を加えたり双括型で反論を用いたりする方法を知り、意図的に書き表す方法が分かる。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、三つの文章の型 (頭括・尾括・双括) の掲示物、

例文シート (掲示用・児童用)、構成要素カード

児童—学習計画表、教科書、ノート、題材シート

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|---|-----|--|
| <p>1 前時の三つの文章の型を想起し、意図的に書く論の進め方について考える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>意図的な書き方を使って、説得力のある「論の進め方」をつかもう。</p> </div> <p>①例文1と2をばらばらにしたものを「具体的な事例」と「まとめて書いている文」に分ける。</p> <p>②意味が伝わるように並べかえる。</p> <p>③それぞれの要素について考え、今までの型との違いを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・推論や反論は考えの一つとも言えるな。 ・事例や事実の後に、推論で自分の考えを述べるといいんだな。その後、主題につなげると、説得力が出るな。 ・自分の考えを言ってからでないと反論はおかしいな。だから双括型にするといいのかな。 | 30分 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時の「述べ方の順番」に加え、本時は「意図的な書き方」があることを知らせる。 ・並べ替える際は、接続語にも着目して文のつながりを考えられるようにする。 ・並べ替えた後、要素について考え、予想(推論)や主題と相反する考え(反論)、根拠が加わっていることを確かめる。 ・ペアで受ける感じについて話し合わせる。推論や反論が加わることで考えが深まり、説得力を高めるポイントになることを押さえる。 ・事実や事例は常に必要であること、適切な接続語を用いることも詳しく書いたり文をつなげたりする上で大切なことを確かめる。 ◎例文1では推論を、例文2では、根拠や反論を抜かした文と比較させ、相手を「なるほど」と納得させるために必要であることが捉えられるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>◇推論や根拠、反論がある文章の効果について説明している。(発言)</p> </div> |
| <p>2 題材シートを確認し、書く材料について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の人が一体となるお祭りをこれからも続けてもらいたいな。 ・地元のおいしいお米やリンゴなどの農産物を他の地域の人に広めたいな。 ・きれいな景色や自然を大切に、気持ちよく過ごせる村が続いてほしいな。 ・伝統ある行事は続けていきたいな。 <p>3 本時の振り返りをし、グループを確認する。</p> | 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・関連教材の筆者の主張部分を読み、話題提示→問題提起→事例→主題の尾括型で、詳しく調べた事例が説得力を持たせていることを確かめる。 ・「郷土の歴史・文化・自然について提言しよう」について考えておいた内容を見直し、紹介させる。尾括型か双括型で、根拠や推論、反論を加えて書けそうか、主題がはっきりしているか考えさせる。 ・児童の題材内容について教師が把握しておき、集約したものを示して、例示する。 ・自分の題材を決め、次時は構成メモを作り、グループで検討し合うことを確かめる。 ・今日の学習で学んだことを構成メモにするとき、どのように生かしていきたいか振り返る。 |

7 板書計画

B 尾括（びかこ）型

C 双括（そうかつ）型

◎尾括型か双括型で、意図的な書き方で書こう

例文 1 ◎尾括型をアレンジ

意図的な書き方を使って
説得力のある「論の進め方」をつかもう。

例文 2 ◎双括型をアレンジ

主張 学級文庫の貸し出しや持ち出しは禁止したほうがいい…(主題)

根拠 なぜかという点、本がどこかに…

事例 例えば、『走る』宮金次郎の…

反論 確かに、教室だけで読むことに…

結論 しかし、他にも読みたい人がいるのですから…(主題)

8 資料

題材シート

意見文を書こう 6年 松組 番 名前

【準備カード・題材シート】

自分の考えや意見をまとめた文章を「意見文」といいます。

10月は、7月より少しレベルアップした意見文を書く学習をします。

テーマは「郷土の歴史・文化・自然について提言しよう」

相手は「教育長さん・地域の方々」に向けて

生まれ故郷の経験をもとに「未来の郷土への願い・思い」を発信します。

例えば…「郷土のよさをたくさんの人に知ってもらいたい」

「郷土の自然を守り受けつぎたい」 → 「なぜ、そう考えたか」を伝える

「郷土の歴史(文化)を大切にしていきたい」

社会や環境に関わること

郷土の未来が「ため」にある(自分の願い)

よさを発信していきたい

人や自分自身に関わること

新たに実現していきたい

最も大切にしたい意見について材料を集めよう

ぼく・わたしの意見

郷土の未来がよりよくなるために

| 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) |
|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) |
| 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) |
| 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) | 事例(事例) | 根拠(理由) |

6 本時の展開 (3/6)

(1) ねらい

意見文の構成メモを作り、分かりやすい構成メモになっているかグループで検討し合い、改善点を見いだすことができる。(推敲①)

(2) 準備

教師—学習計画表(掲示用)、書き技シート①(掲示用)、構成メモ用ワークシート(掲示用)
付箋、ピア活動の仕方(各グループ)

児童—学習計画表、題材シート、書き技シート①、構成メモ用ワークシート

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|--|-----|---|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、構成メモの書き方を知る。</p> <p>構成メモを作って、友達とアドバイスし合い、分かりやすく説得力ある構成メモにしよう。</p> | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・前時に確認したグループで座席を組ませ、友達にアドバイスをもらいながら構成メモをより良いものに仕上げるとい学習課題を捉えられるようにする。 ・教師作成のモデルを例示し、構成メモを書く手順を示す。 |
| <p>2 各自で意見文の構成メモを作る。</p> <p>— 構成メモを書く手順 —</p> <p>①自分の主張→具体例→思ったことや意見の順に考えさせ、付箋に書く。</p> <p>②尾括型・双括型のどの型を用いるか決める。</p> <p>③構成メモに要素を書き込みながら、付箋を並べ替える。</p> <p>・説得力を出すには、詳しく書けそうな体験を入れよう。</p> <p>・地域のカルタで調べたことを加えよう。</p> <p>・双括型にして説得力を持たせよう。</p> | 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・「書き技シート①」を確かめながら、題材シートを基に自力で構成メモができるように机間指導する。 ・時間を知らせながら、はじめの10分は付箋を書き込む時間に、残り5分は構成を考える時間に当て、自己チェック(自己推敲)や友達への説明ができるよう声かけをする。 ・付箋には、文章でなく短い言葉で書かせる。主張(黄)、事実(青)、考え(桃)と付箋の色を変え、視覚的に事実と考えを分けられるようにする。 ◎題材シートを確かめさせ、順番やつながりを考えさせる。既習の要素のつなげ方を例示する。 ◎推論や反論、根拠も組み入れて、多面的な考えを引き出す。 |
| <p>3 グループで構成メモを説明し合い、アドバイスをもらう。(推敲①)</p> <p>— 説明の仕方 — (ワークシートを見せながら)</p> <p>①私の主題は「～するために、私は～したい」です。</p> <p>②使う文章構成の型は～型にしました。</p> <p>③はじめは、～(要素)で～(付箋)。 中は、～(要素)で～(付箋)。 ～(要素)で～(付箋)。 …</p> <p>終わりは、～(要素)で～(付箋)。</p> <p>④アドバイスをお願いします。</p> | 15分 | <ul style="list-style-type: none"> ・「推敲」は「より良く練り直す」ことを押さえる。友達に分かってもらえるよう説明し、「アドバイスをもらって、良い考えを取り入れて、もっと良く修正する」というピア活動の意義を理解できるようにする。友達のプラスになるような発言、困っていることを一緒に考える場であることも理解させる。 ・ピア活動の進め方を教師が示し、説明や聞き方、アドバイスの仕方がイメージできるようにする。 (一人4分程度で交替) ・友達の説明を聞きながら、「書き技シート①」の「3チェックしよう」の観点に沿ってアドバイスができるように考えさせる。読み手に分かりやすいかどうか考えさせる。 ◎説明がうまくできない場合は、教師が補助して一緒 |

- ・事実の後に予想（推論）を入れると、どう考えたかが伝わるな。
- ・反論の解決策が見付からないな。みんなに聞いてみよう。
- ・双括型のはじめの意見の後に理由（根拠）を付け足すと納得できるね。
- ・話題提示の後に、自分の体験を入れてみるとうまくつながるかな。
- ・主題につながる事例でないから～の事例にしてみたら。

- に考える。まだ考えがまとまっていない場合は、友達に知らせ、アイデアをもらうよう促す。
- ・もらったアドバイスをワークシートにメモさせ、修正や振り返りの参考にさせる。

【書く能力】
 ◇文章の型を用いて適切な構成メモになっているかを、チェック項目に基づいて説明したりアドバイスしたりしている。（発言）

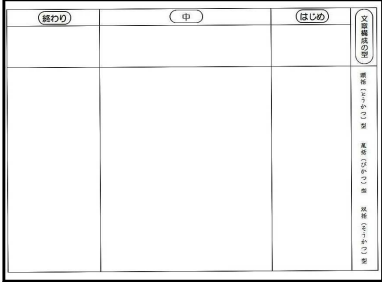
- 4 自分の構成メモを修正し、本時の振り返りをする。
- ・説得力が出るように、自分の体験や思ったことを付け足そう。
 - ・予想したことを書くと、内容がふくらむな。
 - ・説明してみると、足りないところが良く分かった。

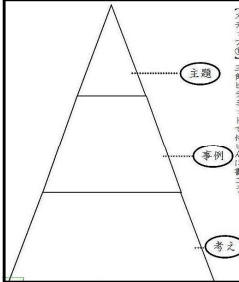
10分

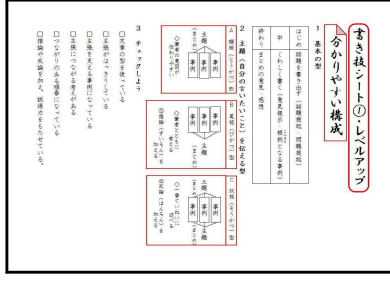
- ・ワークシートのメモを基に、より分かりやすい構成メモになるよう修正する。
- ・ピア活動の振り返りを記入する。アドバイスをもらって良かったことや、見直して修正したいことなどを書かせる。
- ・次時は、構想メモを基に意見文を下書きすることを知らせる。

【書く能力】
 ◇ピア活動を受け、改善点を見いだして修正している。（構成メモ・学習計画表の振り返りカード）

7 板書計画







★修正点を
赤で書こう

【聞く人】
 分かりやすいか
 説得力があるか
 チェック項目
 プラスアドバイス

★ピア活動の仕方
 【説明する人】
 ① 主題
 ② 文章構成の型
 ③ 要素

構成メモを作って、友達とアドバイスし合い
 分かりやすく説得力ある構成メモにしよう

8 資料

書き技シート①

書き技シート①・レベルアップ
分かりやすい構成

1 基本の型

| | |
|-----|----------------------|
| はじめ | 話題を書き出す(話題提起・問題提起) |
| 中 | くわしく書く(意見提示・根拠となる事例) |
| 終わり | まとめの意見・感想 |

2 主題(自分の言いたいこと)を伝える型

A 頭括(とうかつ)型

主題(まどめ)
事例
事例

◇筆者の意図が伝わりやすい

B 尾括(びかつ)型

事例
事例
事例
主題(まどめ)

◇筆者とともに考えを推論(すいろん)を加える

C 双括(そうかつ)型

主題(まどめ)
事例
事例
事例
主題(まどめ)

◇「参(ま)り」(参(ま)り)に「参(ま)り」を加える

3 チェックしよう

- 文章の型を使っている
- 主張がはっきりしている
- 主張を支える事例になっている
- 主張につながる考えがある
- つながりのある順番になっている
- 推論や反論を加え、説得力をもたせている。

ワークシート・構成メモ

グループカード・ピア活動の仕方(構成)

【ステップ③】 友達のアドバイスをメモしよう。

【ステップ①】 三角ピラミッドで付せんに書こう。

【ステップ②】 付せんに構成を考えてならべよう。

| | | |
|-------|-----|-------|
| 【終わり】 | 【中】 | 【はじめ】 |
| | | |

【ステップ④】 改善点を見つけて、よりよくしよう。
※ 選んだところや付けたしを付せんの横に赤で書こう

ピア活動の仕方(構成メモ)

順番に、自分の構成メモの説明をする。

- (ワークシートを見せながら)
- ① 私の主題は「～するために私は～したい」です。
 - ② 使う文章構成の型は～型にしました。
 - ③ はじめは、～(要素)で～(付せん)。
中は、～(要素)で～(付せん)。
～(要素)で～(付せん)。
...
 - 終わりは、～(要素)で～(付せん)。
 - ④ アドバイスをお願いします。

聞く人は次の点に気を付けてアドバイスしよう。

- ① その説明で分かりやすいか
→ 分かりにくいところは質問
- ② チェック項目の中から
- ③ プラスのアドバイス

みんなで考え合おう!!! (一人4分ぐらい)

6 本時の展開 (4/6)

(1) ねらい

構成メモに沿って、主張の筋が通るように事例や考えのつながりを考え、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりして、主題が明確な意見文を書くことができる。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、書き技シート②・③ (掲示用)、

児童—学習計画表、構成メモ、書き技シート②・③、記述用ワークシート、国語辞典

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|--|-----|--|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、記述シートの書き方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>構成メモを基に、主題がはっきり伝わる説得力ある意見文を書こう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・構成が決まっているから、メモを基に文章を工夫してみよう。 ・意見が伝わるように詳しく書こう。 ・書き出しを印象的に書こう。 | 10分 | <ul style="list-style-type: none"> ・修正した構成メモを基に、意見文を書くことを確認する。構成は考えてあるので、メモを文章に膨らませるといったイメージを持たせる。 ・分かりやすく説得力ある文章にするには、コツがあることを知らせ、「書き技シート②」(記述の内容)・「書き技シート③」(言葉の使い方・表記)について、例を挙げながら説明する。 ・題名は仮のものを用い、後で決定できるように声かけをする。本文は3行目から書かせる。 |
| <p>2 構成メモを基に意見文を書く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・書き出しは、問いかけから始めてみようかな。 ・自分の体験を詳しく書いてみよう。 ・段落を分けて書こう。 ・段落のはじめの接続語に気をつけよう。 ・地域のかたるたを引用してみよう。 | 30分 | <ul style="list-style-type: none"> ・まずは、構成メモを基に書かせる。「書き技シート②・③」は書きながらのヒントとして用い、机間指導をしながら声かけをする。 ・文字数400～600字でまとめるためには、はじめと終わりは4～6行程度を目安にして、見通しを持って書けるようにする。 ・書いた文を読み返しながら書き進めるように声かけをし、他の人に分かるように、説得力があるか考えながら書かせる。 ・できあがったら「書き技シート②・③」のチェック項目を確かめ、修正点を考えさせ手直しもさせる。(自己推敲) <p>◎書き出しに手間取っている場合は、「書き技シート②」の「書き出しの工夫」をヒントに例示する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【書く能力】</p> <p>◇構成メモに沿って、主張の筋が通るように事例や考えのつながりを考え、目的に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしている。</p> <p>【言語についての知識・理解・技能】</p> <p>◇接続語や文末表現を適切に用いて書いている。(記述用ワークシート)</p> </div> |
| <p>3 本時の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成メモ通りに書いて良かったな。 ・根拠が詳しく書けたな。 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・自分の主張が伝わるように書けたか、『書き技シート』のどの点が参考になったかを書かせる。 ・次時は、ピア活動で友達の作文を読み合い、アドバイスし合うことを確かめる。 |

7 板書計画

構成メモを基に、主題がはっきり伝わる
説得力ある意見文を書こう

○書くときのヒントにしよう

書き技シート② レベルアップ

分かりやすい記述(意見文)

- 書き出し(印象的に)
- 表現技法(効果的に)
- くわしく(具体的に)
- チェックしよう

書き技シート③

分かりやすい言葉づかい・表記

- 文末表現(統一する)
- 接続語(文や段落の関係)
- 表記のきまり(正しく)
- チェックしよう

○書く時間20分・見直し10分

『書き技シート』の
チェック項目をよく確かめよう。

8 資料

書き技シート②

書き技シート② レベルアップ

分かりやすい記述(意見文)

1 書き出し(印象的に)

- 会話・音 引用から
- 問いかけから (「」を使う)
- 語りかけ(「ですね」)
- 考え(意見)から
- 事実(周りの様子)から

2 表現技法(効果的に)

- ★本文は、短くしたり分けたりする。
- 比喩(たとえ)
- 「まるで」のよけに、「みたいに」
- くり返し(強調)
- 会話文
- 擬音語 (様子を表す。「そのとらで」)
- 擬声語 (音を表す。「フーザ」など)

4 チェックしよう

- はじめから終わりまで主張の筋が通っている
- 事例(事実)が自分が見たことや体験したことになっている
- 事例からどう考えたかを具体的に書いている(なっとくできる)
- 目的に応じて、くわしく書くところ簡単に書くところを分けている
- 段落のつながりよく書けている
- 他の人にも意味の分かる、説得力ある文章になっている

書き技シート③

書き技シート③

分かりやすい言葉づかい・表記

1 文末表現(統一する)

- 常体(「である」「だ。など)
- 敬体(「です。ます。など)
- 事実(「だ。した。である。)
- 意見(「と思う。と考える。)
- くだらう。くだらない。)

2 接続語(文や段落の関係)

- 順接(「だから」「そこで」「それで」)
- 逆接(「でも」「けれども」「しかし」)
- 並べ(「付け加える」)
- また「そして」さらに「しかも」……)
- 説明・補足(「ただし」「なぜなら」)
- 選ぶ、比べる(「それとも」「または」……)
- 話題を変える(「ところで」「では」)
- 言い換え・まとめ(「つまり」「要するに」……)

4 チェックしよう

- 文末表現が常体が敬体で統一されている
- 事実と意見を区別した文末表現になっている
- 文と文、段落のはじめの接続語を正しく使っている
- 言葉や漢字が正しく使われている

6 本時の展開 (5/6)

(1) ねらい

第一次作文をグループで検討し合い、記述の内容について改善点を見つけて修正することができる。
(推敲②)

(2) 準備

教師—書き技シート②・③ (掲示用)、記述用ワークシート (掲示用)

付箋例、清書用紙、ピア活動の仕方 (各グループ)

児童—学習計画表、第一次作文、書き技シート②・③、構成メモ

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|---|------------|--|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、ピア活動の進め方を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達と読み合ってアドバイスし合い、より良い意見文にしよう。</p> </div> <p>— ピア活動の進め方 —</p> <p>① 回し読みをしながら付箋に書き込む。 良い点 (緑)・改善点 (黄)</p> <p>② 付箋が付いたところを順に検討する。 (①・②ともに一人3分ぐらい)</p> <p>「緑の付箋ありがとうございました。黄色の付箋について～さんからお願いします。」</p> | <p>5分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・前時に書いた意見文をグループで読み合い、友達にアドバイスをもらいながらより良い意見文に仕上げるとい学習課題を捉えられるようにする。 ・原稿を読み合うピア活動の手順を教師が例示して確認する。付箋の書き方も示す。 ・「書き技シート②」に沿って、「分かりやすく説得力があるか」という視点で読むことを押さえる。「書き技シート③」の表記については教師が評価とともに修正点を指摘することを知らせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「書き技シート②」チェック項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> はじめから終わりまで主張の筋が通っている。 <input type="checkbox"/> 事例が自分が見たことや体験したことになっている。 <input type="checkbox"/> 事例からどう考えたかを具体的に書いている。 <input type="checkbox"/> 詳しく書くところと簡単に書くところを分けている。 <input type="checkbox"/> 段落のつながり良く書けている。 <input type="checkbox"/> 他の人にも意味の分かる説得力ある文章になっている。 </div> |
| <p>2 グループで第一次作文を読み合い、アドバイスをもらう。(推敲②)</p> <p>「～のところが分かりにくいです。」</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜそう思ったか、理由を詳しく書くといいね。どんな理由なの？ ・会話を入れて、その時の様子が分かるようにしてみたら。 ・同じことが繰り返し続いているから、違う言葉にしてみたら。 ・この接続語はなんだかおかしいよ。～の方がいいね。 ・一番大事な事例をもっと詳しく長めに書くと、良くなりそうだね。それをはじめの事例にしてみたら。 ・ここは、もっと簡単に書くとすっきり読めると思うな。 ・反論の解決策の意味が少し分かりにくい | <p>25分</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・回し読み、検討の交代の目安は、教師が児童の状況を見ながら表示で示し、適宜声をかける。 ・良い点、改善点ともに二つは書けるよう考えさせる。 ・良い点は交流時に紹介し合うので簡単に確認し、改善点を中心になぜ分かりにくいのか、どう直せば良いかを話し合わせる。 ・分かりにくいところは書き手に質問して、それをヒントに内容を加えさせる。 ・必要に応じて、構成メモも確認して考えさせる。 <p>◎ 良い点が見付からない場合は、表現の工夫や分かりやすさで考えさせる。それでも見付からない場合は、改善点に着目させる。</p> <p>◎ 改善点が見付からない場合は、もっと知りたいところを見付けさせる。</p> |

| | | |
|--|----|--|
| <p>ね。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予想を（推論）を詳しく書いてみて。 ・～のところを△△△にしてみたらどう？ | | |
| <p>3 意見文を修正する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話や音を付け足そう。 ・この事例を詳しくしてみよう。 ・読む人に伝わるような書き方にしてみよう。 ・思い切って順番を換えてみよう。 ・この言葉を違う言葉にしてみよう。 | 7分 | <ul style="list-style-type: none"> ・アドバイスを基に、第一次意見文の空欄に修正点を赤で記入させる。付箋のついた箇所をよく吟味させ、無理に直すのではなく、納得できた部分を修正させる。読み返して気付いたところも加えさせる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【書く能力】</p> <p>◇チェック項目に基づいて、記述の内容について友達の作文の改善点を見いだしたり、アドバイスを基に改善点を修正したりしている。 (発言・第一次作文の修正)</p> </div> |
| <p>4 本時の振り返りをし、清書の書き方を確かめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気付かなかったことを教えてもらえて良かった。 ・理由をいろいろ付け足せたから、はじめより詳しくなってきたな。 | 8分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピア活動の振り返りを記入する。アドバイスをもらって良かったことや、見直して修正したことなどを書かせる。 ・次時の清書の仕方を確認し交流することを伝える。題名を考えておくように知らせる。 |

7 板書計画

◎アドバイスの仕方
「〓のところは分りにくいので、質問したり話し合ったりして良い方法を考えよう」「〇〇にしてみたらどう?」

◎修正の仕方
空欄に赤で書きこもう

(児童作品の拡大)

◎アドバイスの視点
友達と読み合ってアドバイスし合いより良い意見文にしよう

◎付せんの例
〈良い点〉
〈改善点〉

推敲

書き後シート②・レベルアップ

今よりやりやすい記述(意見文)

1. 書き手(自分の名前)
2. 改善点(自分の名前)
3. 良い点(自分の名前)

◎付せんの例

〈良い点〉
〈改善点〉

8 資料

グループカード

- ・ピア活動の仕方(記述)

ピア活動の仕方(記述)

①原稿を回し読みし、付せんに付ける。
(一人3分ぐらい)

よい点(緑)
「分かりやすい」「かわいい」「工夫されている」
改善点(黄)
「もっとかわしく」「理由をはっきり」「工夫してみたら」「同じことがかいてあるよ」…

どちらも、2まいは書けるようにしましょう!

②順に改善点を話し合う。

(自分の原稿を見せて)
緑の付せんありがとうございました。
黄色の付せんについて～さんからお願いします。

どう直したらいいか みんなで考えよう!!! (一人3分ぐらい)
解決できそうなところから話し合おう!!!

6 本時の展開 (6 / 6)

(1) ねらい

清書した意見文を発表し合い、内容や表現の工夫などこれからは生かしたいことを伝え合う。

(2) 準備

教師—学習計画表 (掲示用)、書き技シート①・②・③ (掲示用)、ピア活動の仕方 (各グループ)
 児童—学習計画表、清書作文、第一次作文、書き技シート①・②・③

(3) 展開

| 学習活動 ・予想される児童の反応 | 時間 | 指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する児童生徒への支援 ◇評価) |
|---|-----|--|
| <p>1 本時の学習課題を確かめ、清書をし、発表の準備をする。</p> <p>清書した意見文を発表し合い、工夫点やこれからは生かしたいことを伝え合おう。</p> <p>—ピア活動の進め方—</p> <p>①書き方を工夫したことや頑張ったこと ②修正点 ③意見文の音読 ④発表を聞いての感想</p> | 20分 | <ul style="list-style-type: none"> ・ピア活動で、発表し合うことを確認する。 ・清書を仕上げ、題名を決めさせる。 ・清書した意見文を繰り返し音読し、発表の練習をさせる。 ・自分の意見文で工夫したことや頑張ったこと、修正点が発表できるようメモさせる。(第一次作文の裏)『書き技シート』も参考にさせる。 ・発表を聞く人は、工夫した書き方や分かりやすさで参考にしたいことなどの感想が言えるよう、考えながら聞くように意識付ける。 |
| <p>2 グループで清書原稿を発表し合い、感想を伝え合う。(交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成をしっかり考えたから、何を書けば良いかが分かった。 ・書き出しを工夫できて良かった。これからはやってみたい。 ・根拠を付け足すと、なぜそう考えたかが分かる意見文になると分かった。 ・反論や推論が入ると「なるほど」と思う。 ・〇〇君の書き方の～を自分も次にやってみたい。 | 20分 | <ul style="list-style-type: none"> ・工夫点やよさを中心に、伝え合うイメージを持たせる。自分らしい考えを大事にし、よく聞き合えるようにする。一人5分程度で交替する。 ◎発表者が工夫したことや頑張ったこと、修正点についても紹介しているので、その点を踏まえて聞き、感想が言えるようにする。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>◇自分の意見文の工夫点や改善点を進んで伝え、友達の発表に興味を示して感想を述べている。</p> <p>(発言・行動観察)</p> |
| <p>3 ピア活動 (交流) やこれまでの学習の振り返りをする。</p> <p>①ピア活動から学んだこと ②書き技シートで役立ったこと ③これからは生かしたいこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達の書き方の工夫を取り入れていきたいし、どうやって文を直したら良いのが分かった。 ・いろんな工夫があるので、進んで使えるようにしたい。 ・構成の型を使って、これから書くようにしたい。 | 5分 | <ul style="list-style-type: none"> ・全体の構成を考え、構成の型に当てはめると分かりやすい文が書けることを押さえる。 ・説得力ある意見文を書くために『書き技シート』のどんな点が役立ったか、今後には生かしたいことは何かも書かせる。 <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>◇意見文の書き方について学んだことを今後には生かそうとしている。</p> <p>(学習計画表の振り返りカード)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・清書した意見文を教育長さんや地域の人に読んでもらい、児童の考えや学習の成果を紹介することを知らせる。文集にして全員の意見文を読めるようにするので、今後には生かすよう呼びかける。 |

7 板書計画

書き技シート⑤
今かりやすき書きのいい表記

1. 今かりやすき書きのいい表記

2. 今かりやすき書きのいい表記

3. 今かりやすき書きのいい表記

4. 今かりやすき書きのいい表記

書き技シート⑥
今かりやすき書きのいい表記

1. 今かりやすき書きのいい表記

2. 今かりやすき書きのいい表記

3. 今かりやすき書きのいい表記

4. 今かりやすき書きのいい表記

書き技シート⑦
今かりやすき書きのいい表記

1. 今かりやすき書きのいい表記

2. 今かりやすき書きのいい表記

3. 今かりやすき書きのいい表記

4. 今かりやすき書きのいい表記

意見文を発表し合い、
工夫点や生かしたいことを伝え合おう

読み手に分かりやすい
説得力ある意見文に
するために

④ 発表を聞いて
(感想)

③ 意見文

② 修正したところ

① 工夫したこと
がんばったこと

交流

① 工夫したこと
がんばったこと

② 修正したところ

③ 意見文

④ 発表を聞いて
(感想)

振り返ろう

① ピア活動

② 書き技シート

③ これからに生かす

8 資料

グループカード・ピア活動の仕方（交流）

ピア活動の仕方（交流）

★順番に、自分の作文を発表しましょう。
(一人5分ぐらい)

①書き方を工夫したことやがんばったこと

②アドバイスをもらって修正したところ

③はっきり気持ちをこめて、発表する

★聞く人

工夫した書き方や分かりやすいところ

自分の参考にしたいところを伝えよう

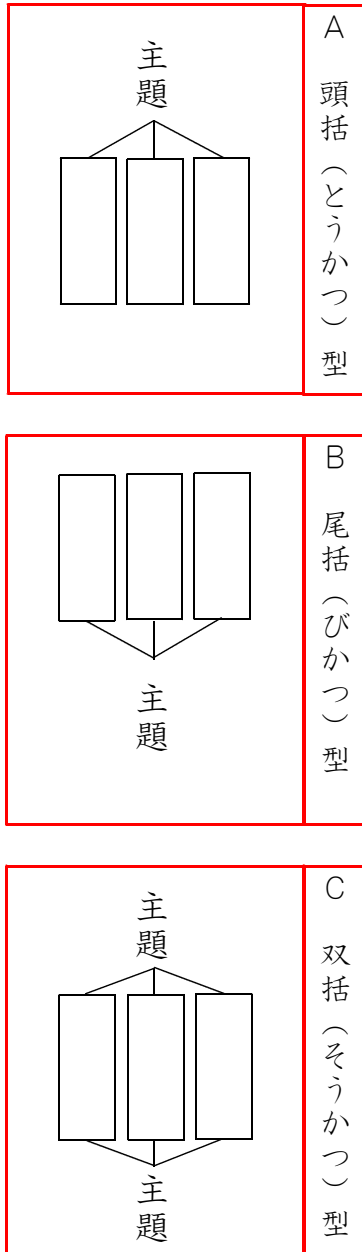
書き技シート①

分かりやすい構成

1 基本の型

| | | |
|-----|---|--|
| はじめ | 話題を書き出す（話題提起・問題提起） | |
| 中 | くわしく書く（意見提示・ <small>こんきよ</small> 根拠となる事例） | |
| 終わり | まとめの意見・感想 | |

2 主題（自分の言いたいこと）を伝える型



3 チェックしよう

- 文章の型を使っている
- 主張がはっきりしている
- 主張を支える事例になっている
- 主張につながる考えがある
- つながりのある順番になっている

書き技シート②

分かりやすい記述（意見文）

1 書き出し（印象的に）

- 会話・音・引用から（「」を使う）
- 問いかけから（～ですか。）
- 語りかけ（～ですね。）
- 考え（意見）から
- 事実（周りの様子）から

2 表現技法（効果的に）

- ★ 長文は、短くしたり分けたりする。
- 比喩（たとえ）
「まるで～のように、～みたい」
- くり返し（強調）
- 会話文
- ぎ態語
（様子を表す・「のそのそ」など）
- ぎ声語
（音を表す・「ザーザー」など）

3 くわしく（具体的に）

- 中心を選んで重点的に
- 事例は様子が目に浮かぶように
- 数字や日時、場所などを入れる
- 考えの理由をはっきりと

4 チェックしよう



- はじめから終わりまで主張の筋が通っている
- 事例（事実）が自分が見たことや体験したことになっている
- 事例からどう考えたかを具体的に書いている（なっとくできる）
- 目的に応じて、くわしく書くところ簡単に書くところを分けている
- 段落のつながりよく書けている
- 他の人にも意味の分かる文章になっている

書き技シート③

分かりやすい言葉づかい・表記

1 文末表現（統一する）

- 常体（～である。～だ。など）
- 敬体（～です。～ます。など）
- 事実（～だ。～した。～である。）
- 意見（～と思う。～と考える。～したい。～を学んだ。～だろう。～にちがいない。～）

2 接続語（文や段落の関係）

- 順接（だから・そこで・それで…）
- 逆接（でも・けれども・しかし…）
- 並べる・付け加える（また・そして・さらに・しかも…）
- 説明・補足（ただし・なぜなら…）
- 選ぶ・比べる（それとも・または…）
- 話題を変える（ところで・では…）
- 言いかえ・まとめ（つまり・要するに…）

3 表記のきまり（正しく）

- 誤字・脱字
- 漢字
- 句読点「。」「、」「」
- 原稿用紙の使い方（段落はじめは一マス空ける…）

4 チェックしよう

- 文末表現が常体か敬体で統一されている
- 事実と意見を区別した文末表現にしている
- 文と文、段落のはじめの接続語を正しく使っている
- 言葉や漢字が正しく使われている

書き技シート①・レベルアップ

分かりやすい構成

1 基本の型

| | |
|-----|---|
| はじめ | 話題を書き出す（話題提起・問題提起） |
| 中 | くわしく書く（意見提示・根拠 <small>こんぎよ</small> となる事例） |
| 終わり | まとめの意見・感想 |

2 主題（自分の言いたいこと）を伝える型

A 頭括（とうかつ）型

◇筆者の意図が伝わりやすい

B 尾括（びかつ）型

◇筆者とともに考える
◎推論（すいろん）を加える

C 双括（そうかつ）型

◇一番ていねいに述べる
◎反論（はんろん）を加える

3 チェックしよう

- 文章の型を使っている
- 主張がはっきりしている
- 主張を支える事例になっている
- 主張につながる考えがある
- つながりのある順番になっている
- 推論や反論を加え、説得力をもたせている。

書き技シート②・レベルアップ

分かりやすい記述（意見文）

1 書き出し（印象的に）

- 会話・音・引用から（「」を使う）
- 問いかけから（～ですか。）
- 語りかけ（～ですね。）
- 考え（意見）から
- 事実（周りの様子）から

2 表現技法（効果的に）

- ★ 長文は、短くしたり分けたりする。
- 比喩（たとえ）
「まるで～のように、～みたいに」
- くり返し（強調）
- 会話文
- ギ態語
（様子を表す・「のそのそ」など）
- ギ声語
（音を表す・「ザーザー」など）

3 くわしく（具体的に）

- 中心を選んで重点的に
- 事例は様子が目に浮かぶように
- 数字や日時、場所などを入れる
- 考えの理由をはっきりと
- 引用を入れて説明する（「」を使う）



4 チェックしよう

- はじめから終わりまで主張の筋が通っている
- 事例（事実）が自分が見たことや体験したことになっている
- 事例からどう考えたかを具体的に書いている（なっとくできる）
- 目的に応じて、くわしく書くところ簡単に書くところを分けている
- 段落のつながりよく書けている
- 他の人にも意味の分かる、説得力ある文章になっている